

な とり がわ わら ひ い 名取川ヨシ原火入れ

伝統的な
ヨシの火入れを
名取川のヨシ原で
実施します!!

@かわまちてらす閑上前



ゆり しま
「閑島」



昔から閑上で親しまれてきた
この中州を、今回の火入れを
機会に「閑島」と
名付けました。

令和6年3月23日(土) 9:00 着火

入場無料!!かわまちてらす閑上前堤防から見学できます

特典1 数量限定!!

できたてのポン菓子 & 甘酒
無料お振る舞い!!



特典2

双眼鏡を
のぞいてみよう!!
無料体験ブース



注① 風向きによって煙や灰が飛散します。洗濯物などにご注意願います。 注② 強風・雨などの場合は翌日に延期します。

【名取川ヨシ原火入れ実行委員会】かわまちてらす閑上/国土交通省仙台河川国道事務所/名取市/仙台市/名取市消防本部/東北大学/国立環境研究所
【協力】環境省東北地方環境事務所

お問い合わせ：かわまちてらす閑上 事務局 ☎022-399-6848 (〒981-1203)名取市閑上中央 1-6

豆知識

ヨシの火入れは、全国各地で行われています。枯れたヨシを焼くことで、新たなヨシが生育する健やかな環境をつくり出します。また、病害虫の駆除や河川環境の保全にも役立ちます。



川のゴミは、圧倒的に多いのはペットボトルや食品トレイなどのプラスチック類です。洪水のあとの川に流れ着いた散乱ゴミを見られた方も多いためです。豊かで美しい河川環境を目指し、市民団体などが清掃活動を行っています。



かわまちてらす閑上は、2019年4月に閑上地区にできました。東日本大震災により壊滅的な被害を受け官民が連携し水辺空間の質の向上させる「かわまちづくり」を進め、完成しました。26店の飲食店等が並び、観光拠点として多くの来訪者を迎え入れています。



環境教育は、豊かな自然環境を守り、子孫に引き継いでいくために必要です。温暖化や生物多様性の減少など、自然環境の悪化が深刻化しています。また、環境への負荷が少ない、エネルギーの効率的な利用も持続可能な社会の構築に大切です。ヨシの火入れをきっかけに、自然環境を見つめ直してみませんか！



ヨシ原は、川の水質浄化の効果や生物の憩いの場となっています。健全で品質の良いヨシは、茅葺き屋根の材料やよしずなどの工芸品としても活用されています。



SDGs は、私たちが地球で暮らし続けられる「持続可能な世界」を実現するための目標です。今回のヨシ原火入れも、その一助となればと考えています。

